





トンネル台帳 トンネル記録（位置図、断面図、施工実績他） 【様式 S - 3】

フリガナ 名称		路線名		作成者		作成年月日	
		管理者名					
位置図・現況写真・標準断面図・地質縦断面図・施工実績							

定期点検記録様式 トンネル変状・異常箇所写真位置図 【様式A-1】

										トンネルID					
フリガナ 名称			路線名					管理者名			緊急輸送道路				
											代替路の有無				
所在地	自		定期点検業者						定期点検年月日			トンネル延長	L=	m	
	至		定期点検者名									トンネルの分類			
起点	緯度		変状・異常 箇所数合計	トンネル 本体内工	材質劣化					トンネル毎 の健全性		附属物の 取付状態	(応急措置後)		
	経度				漏水										×
終点	緯度				外力										
	経度														
トンネル変状・異常箇所写真位置図															
<p>写真番号の記載例</p> <p>本体内工の変状：写真-【覆工スパン番号】-【変状番号】</p> <p>附属物の異常：写真-【覆工スパン番号】-【異常番号】</p>										<p>注1：本位置図は、見下げた状態で記載すること。</p> <p>注2：覆工スパン番号は横断目地毎(矢板工法の場合は上半アーチの横断目地毎)に設定すること。</p> <p>注3：写真番号に付する変状番号は、各覆工スパンの変状に対して新たに確認された場合は順次追加していくこと。</p> <p>注4：横断目地の変状は前の覆工スパン番号で計上すること。</p> <p>注5：1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて作成すること。</p>					

- トンネル本体内工の変状数は、材質劣化、漏水に起因するものは変状単位で、外力に起因するものはスパン単位で計上すること。
- 本体内工の変状に対しては、健全性の判定区分 ~ について添付すること。また、点検前に実施された措置により と判定された箇所も添付すること。
- 附属物の取付状態の 欄については、応急措置前に判定区分×とした箇所のうち応急措置により 判定とした箇所の数を記入すること。
- 附属物の異常番号は、本体内工と番号が重複しないよう101番以降とする等の配慮を行い、分かりやすく記録すること。







定期点検記録様式 変状写真台帳【様式A-2】

フリガナ 名称		路線名		定期点検業者		定期点検年月日	
		管理者名		定期点検者名			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号		
	変状 番号				変状 番号		
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	部位 区分				部位 区分		
変状区分				変状区分			
変状種類				変状種類			
健全性	応急措置前			健全性	応急措置前		
	応急措置後				応急措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回定期点検時の状態				前回定期点検時の状態			
調査方針				調査方針			
対策履歴		実施状況(実施日)		対策履歴		実施状況(実施日)	
メモ				メモ			
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号		
	変状 番号				変状 番号		
変状 部位	対象 箇所			変状 部位	対象 箇所		
	部位 区分				部位 区分		
変状区分				変状区分			
変状種類				変状種類			
健全性	応急措置前			健全性	応急措置前		
	応急措置後				応急措置後		
変状の発生範囲の規模				変状の発生範囲の規模			
前回定期点検時の状態				前回定期点検時の状態			
調査方針				調査方針			
対策履歴		実施状況(実施日)		対策履歴		実施状況(実施日)	
メモ				メモ			

健全性（応急措置後）の判定区分 ~ について添付すること。また、点検前に実施された措置により ~ と判定された箇所も添付すること。

たたき落としを実施した場合は、実施後の写真を添付すること。  
 附属物の取付状態に関する異常写真は別途、任意の書式でとりまとめること。

変状の発生範囲の規模とは、対策を行う際に参考となる変状の長さや面積をいう。

応急措置を実施しないで判定した変状の健全性は、健全性の応急措置後の欄に記入すること。

点検調書 異常写真台帳 【様式D - 1:付属物】

フリガナ 名称		路線名		点検業者・点検者名		点検年月日	
		管理者名		調査業者・調査技術者名		調査年月日	
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号		
	異常 番号				異常 番号		
異常 部位	対象 箇所			異常 部位	対象 箇所		
	部位 区分				部位 区分		
異常種類				異常種類			
健全性				健全性			
メモ		メモ					
写真 番号	覆工 スパン 番号			写真 番号	覆工 スパン 番号		
	異常 番号				異常 番号		
異常 部位	対象 箇所			異常 部位	対象 箇所		
	部位 区分				部位 区分		
異常種類				異常種類			
健全性				健全性			
メモ		メモ					

点検調書 トンネル全体変状展開図 【様式D - 2】

フリガナ 名称	路線名	点検業者・点検者名	点検年月日
	管理者名	調査業者・調査技術者名	調査年月日
トンネル変状展開図			

診断調書 診断結果 (変状単位) 【様式 E - 1】

フリガナ		路線名		点検業者・点検者名		点検年月日							
名称		管理者名		調査業者・調査技術者名		調査年月日							
変状箇所数・変状単位の健全性の判定	坑門工	覆工スパン番号	外力	材質劣化	漏水	覆工スパン番号	外力	材質劣化	漏水				
		PS					S005						
		箇所数 健全性					箇所数 健全性						
	本体工	S001					S006						
			箇所数 健全性						箇所数 健全性				
			S002						S007				
		箇所数 健全性					箇所数 健全性						
		S003					S008						
			箇所数 健全性						箇所数 健全性				
			S004						S009				
		箇所数 健全性						箇所数 健全性					

